

令和元年度の市内観光入込客数は、454万人と前年度から44万人減少となりました。特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光施設における国内外の観光客入込は大きく影響を受けました。市内観光入込客数の内訳としては道外客131万人（29%）、道内客323万人（71%）となっており、そのうち、29万人（6%）が宿泊、日帰りは425万人（94%）となっています。日帰り中心の近郊型観光地となっていますが、近年は市内のホテル建設が進み、宿泊客は増加傾向にあります。新千歳空港の国際線ターミナルの増築や新規路線の就航に伴い、千歳を訪れる外国人観光客も増加しており、令和元年度の訪日外国人宿泊客延数は215,900人と過去最高を記録しました。

新千歳空港などの優れた都市機能を持ち、人・物・情報が多面的に結びつく北の拠点千歳市は、国立公園支笏湖を中心に豊かな自然に恵まれた観光都市です。このほかにも、製造過程等を学べる工場見学や体験農園、体験牧場などがあります。

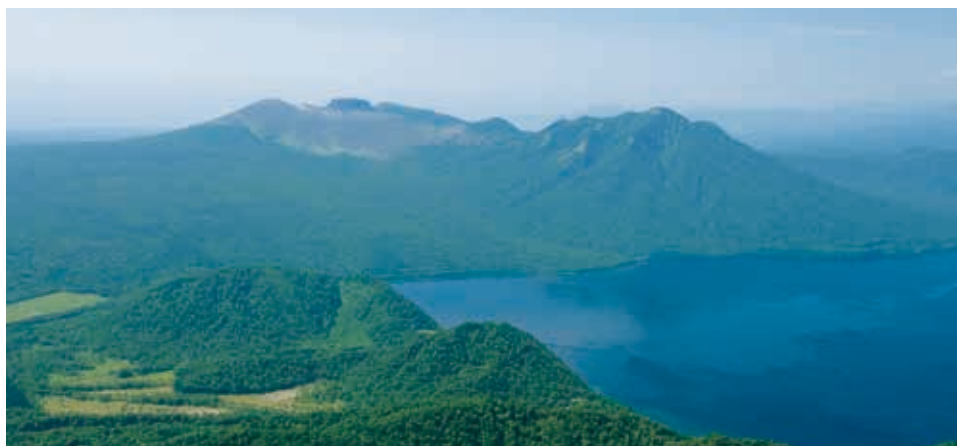
「見る観光」と「体験する観光」のまち千歳市は、四季折々に開催される支笏湖まつりやスカイ・ビア&YOSAKOI祭など多くのイベントも開催されています。毎年多くの観光客が訪れる千歳・支笏湖水濤まつりでは、令和元年度の期間中17万人もの来場者で賑わいました。

市街地にある道の駅サーモンパーク千歳が平成27年にリニューアルオープンし、市内観光の拠点となっています。サケのふるさと千歳水族館には千歳川の水の中を直接見ることができる日本初の水中観察室、サケや北方圏の様々な淡水魚を観察できる大水槽のほか、リニューアル時に整備された支笏湖の湖底を再現した支笏湖大水槽があり、令和元年度は約26万人が訪れました。また、サケのふるさと千歳水族館に隣接してインディアン水車として知られるサケの捕魚車があり、秋にはサケの捕獲風景を間近で見ることができます。

道の駅サーモンパーク千歳は農産物直売所や飲食店のほか、キッズ

スペースや屋外大型遊具があり家族連れでにぎわっています。

観光全般を取り巻く環境は、観光ニーズの多様化等で大きな変化の中がありますが、千歳市の交通アクセスの優位性と自然・農業・産業環境などの様々な観光資源を生かし、観光客受け入れのための環境の充実を図り地域資源の持続的な発展と魅力あふれる観光都市「千歳」の形成に努めています。



樽前山と風不死岳



支笏湖の桜



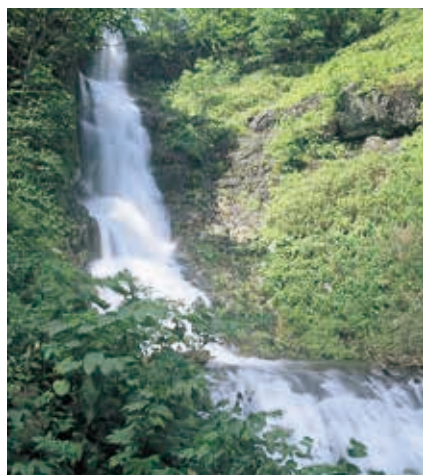
支笏湖湖水まつりの花火



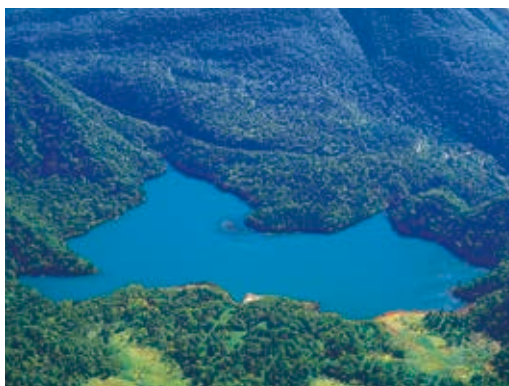
支笏湖水濤まつり



秋の支笏湖



美笛の滝



オコタンベ湖

支笏湖周辺マップ



ヤマセミ



アカゲラ



美笛キャンプ場



苔の洞門

※災害の影響により見学はできません。

189 国立公園支笏湖

(1) 支笏湖周辺の概要

支笏湖は、洞爺湖とともに昭和24（1949）年に国立公園に指定されています。支笏湖は公園の景観の中心をなすカルデラ湖であり、後志火山群の東端に生成されたカルデラは本来、最大径東西約15km・北約13kmのほぼ円型をなしていましたが、南岸に風不死岳（1,103m）、北岸に恵庭岳（1,320m）が噴出し、長径13km・短径5kmのほぼ東西に長いマユ型となっています。流入河川（通称：美笛川）、流出河川はともに千歳川で、支笏湖から流れ出た清流千歳川は東へと続き、まちに潤いをもたらしています。

支笏湖は湖面標高250mで最大水深は363.0m（秋田県田沢湖に次ぎ全国第2位）、平均水深265.4m、周囲約40km、面積約78.76km²、湖水透明度17.5mです。

湖は春の新緑に始まり、ヒメマス（チップ）釣り、キャンプ、登山、サイクリング、紅葉で彩られる原始林等、多彩な季節の移り変わりがあり、湖畔にある温泉にも毎年多くの来遊者をみえています。

交通も苫小牧市から25km、札幌市から50kmと距離も近く、千歳市からは路線バスも運行しています。

観光課

(2) 風不死岳（1,103m）

風不死岳は、支笏湖の南岸に位置し、山の名はアイヌ語でフップ・ウシ（トドマツのあるところ）から由来しています。その名のとおり、山頂近くまでトドマツやエゾマツ、落葉広葉樹を交える森林に覆われているため、湖水の風景に四季折々の彩りを添えています。

観光課

(3) 樽前山（1,041m）

樽前山は、支笏湖の南岸に位置し、山の名はアイヌ語でオフイヌプリ（燃える山）、樽前の原名タオロマイ（高岸あるもの）から由来しています。頂上にはプリン型のドーム（溶岩円頂丘）があることで有名です。これは明治42（1909）年4月の大爆発の際、粘性の強い酸性の溶岩を噴き出したため、遠くまで流れ出さずに火口近くに盛り上がったもので、高さ約130m最大直径は約450mもあります。樽前山には、以前にも小さなドームがありましたが明治7年の爆発で吹き飛んでしまい、現在のドームができました。僅かな時間にこのような溶岩丘を生じる現象は、西インド諸島のモンプレー火山（1902～1903年溶岩岩尖生成、現在は消滅）や洞爺湖畔の昭和山（昭和18～20年生成）とともに世界的にも珍しく、学術的にも貴重なもので国立公園特別保護地区に指定されていますが、近年の火山活動の活発化により登山規制がなされています。

観光課

(4) 恵庭岳（1,320m）

恵庭岳は支笏湖の北岸に位置し、山の名はアイヌ語の「エ・エン・イワ」（頭のどがった岩山）から由来しています。支笏湖周辺では最も高い円錐型火山で頂上付近に東向きの火口があり、火口より東方に延長した深い亀裂がポロピナイ沢となって湖岸に達します。この亀裂には数箇所の噴気孔があります。ポロピナイから4km、徒歩で上り3時間、下り2時間30分で頂上からの眺望は支笏湖全景と日高山系・石狩平野・札幌などを望めますが、平成15

(2003)年十勝沖地震の影響により山頂部の一部が崩落し登山道への落石があり、第2見晴台(8合目と9合目の間に位置)から山頂までは登山規制がなされています。

観光課

(5) 紋別岳 (866m)

麓が支笏湖温泉として展開しているこの山は、上り約2時間、下り約1時間半と比較的短時間で登ることができる山です。山頂には、通信用の鉄塔等が立っており、保守管理用の車道があります。

※一般車両は通行止めになっています。

観光課

(6) 苔の洞門

支笏内の唐沢にあるこの洞門は、1739年の樽前山大噴火の堆積物が浸食されてできた回廊状の地形で、その切り立った両岩壁に約80種類の蘚苔類が密生している様は見事な景観です。

圧倒的に広い面積を占めているのはエビゴケで、次いでタカネツボミゴケ、ジャゴケの順に大きな群落が見られます。この群落は適当な温度、湿度と日照量によって形成されたものとして学術的にも貴重です。2014年8月、日本蘚苔類学会「日本の貴重なコケの森」(日本のコケ100選)に認定されました。

なお、大雨災害による土砂崩れのため閉鎖となっています。

観光課

(7) 野鳥の森

野鳥に親しみながら、いろいろな野鳥やその生態について観察し、野鳥から多くのことを学ぶために開放された約100haの森林で支笏湖温泉から中モラップに至る国有林内にあります。野鳥の森の中には、観察のために約1,500mの歩道や、2棟の観察舎などが設けられています。

なお、歩道の崩落や倒木で一部通行止めとなっています。

観光課

(8) オコタンペ湖 (特別保護地区)

北海道3大秘湖といわれるオコタンペ湖は、支笏湖ができた後に恵庭岳の噴出によりこの山の西北麓に生まれた周囲5km、湖面標高599m(支笏湖より351m高い)の小さな湖ですが、湖の西には黒々としたエゾマツ、トドマツの原始林に覆われた漁岳、小漁岳の山裾が迫ります。水の色はエメラルドグリーンで、早春の残雪、盛夏の深緑、また、秋の紅葉と四季折々の姿で湖面に彩りを添えているところは、まさに絶景で支笏洞爺国立公園最大の原始境との折り紙が付けられています。

なお、災害復旧工事のため通行止めとなっています。

観光課

(9) キャンプ場

ア モラップキャンプ場

昭和33（1958）年市営野営場として道から移管を受けて開設し、平成9年度からは環境省が所管しています。山頂に溶岩ドームを形成した活火山樽前山を仰ぐこのキャンプ場は、支笏湖一の砂原として都会の喧騒を離れ自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いの場です。

開設期間 4月下旬～10月上旬

施設 フリーサイト

炊事場 トイレ 街灯 駐車場 管理棟

利用料金 (ア) 貸テント 4,500円

(イ) キャンプ場管理費（1人1泊）大人 1,000円 小学生以上 700円
4歳以上（幼児）500円

(ウ) キャンプ場管理費（日帰り・1人）大人 700円
小学生以上 500円
4歳以上（幼児）350円

※平成30年7月1日より料金改定

イ 美笛キャンプ場

通称・美笛川河口付近にあり、道内でも数少ない車の乗り入れができるオートキャンプ場として、昭和52（1977）年7月に開設されています。湖と川と森林に囲まれ、釣り、散策等自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いとなっています。

開設期間 5月初旬～10月下旬

施設 管理棟 トイレ 炊事場 街灯

利用料金 (ア) 貸テント（家族用1張） 1,500円

(イ) キャンプ場使用料（1人1泊）大人1,000円 小中学生 500円
未就学児童（4歳以上）200円

(ウ) キャンプ場使用料（日帰り・1人）大人 500円 小中学生 200円
未就学児童（4歳以上）100円

観光課

190 王子製紙千歳川発電所

支笏湖より流れ出る千歳川の水を落ち口付近で調整し、暗渠送水路により水溜に誘導、第1発電所へ通します。第1発電所と、その下流約10kmの間に4か所の発電所を設け出力最大合計37,000kw、平常17,850kwの電力を発生させ、苫小牧工場へ送電しています。

第1発電所は明治43年に完成しましたが、5か所の発電所用建設資材や製紙原料輸送のため苫小牧工場との間に軽便鉄道が通っていました。現在、千歳川落ち口に鉄橋が残り、鉄道跡はサイクリングロードとして活用されています。

第1発電所水溜付近は、春は桜、秋は紅葉と四季それぞれの風景は美しく、谷底を打つ水のこだまと飛び交う小鳥のさえずりなど、訪れた人を魅了します。

発電量などについては第10章 93 王子製紙千歳川発電所を参考にしてください。

王子製紙苫小牧工場

191 捕魚車（通称インディアン水車）

J R千歳駅から東へ約1kmの距離にある道の駅サーモンパーク千歳に隣接して設置されています。この捕魚車は、(一社)日本海さけ・ます増殖事業協会が遡上するサケを捕獲するために設置しているもので、通称インディアン水車と呼ばれ、千歳の秋の風物詩として知られています。毎年秋になると千歳川を梁でせき止め、1か所だけ魚道を開けておき、その魚道をそ上するサケを水車で捕獲します。

明治29(1896)年、青葉公園下付付近に設置されたのが最初で、その翌年に根志越(現在の花園)に移設され、その後千歳川護岸工事に伴い、現在のサケのふるさと千歳水族館側に設置されました。

捕魚車は、伊藤一隆が米国西海岸のコロンビア川水系で実見したもので、ここで捕獲されたサケは国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所に運ばれ採卵受精し、ふ化した稚魚は翌春、千歳川に放流され3～5年で回帰します。千歳事業所では、平成6(1994)年に明治時代のふ化室を再現した「千歳さけますの森さけます情報館」が建設されサケの一生を学習することができます。

観光課

192 道の駅サーモンパーク千歳

サーモンパークを道内で85番目の道の駅として登録したものです。

サーモンパーク内には、淡水では国内最大級の巨大水槽を有し、四季折々に変化する千歳川の中を観察できる水中観察ゾーンでサケをはじめとした様々な淡水魚の生態を観察できる「サケのふるさと千歳水族館」があり、秋には千歳川で「インディアン水車」と呼ばれる水車を利用したサケの捕獲風景を見ることができます。

道の駅では、飲食、物販、案内コーナーなどを集約した地域振興施設の建設や、利用しやすい駐車場の整備などを行い、平成27年8月8日にリニューアルオープンしました。

観光課

193 サケのふるさと千歳水族館

(1) 施設概要

所在地	花園2丁目 サーモンパーク千歳内
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
面積	建築 1,511㎡ 延床 2,992㎡
開館	平成6年9月10日
利用期間	通常 午前9時～午後5時 ※年末年始除く(またメンテナンスのため休館している場合あり)
主要施設	地階 世界の淡水魚コーナーや、千歳川の水中を直接見ることができる水中観察ゾーン 1階 北方圏の淡水魚を展示する大・中・小水槽・支笏湖大水槽 2階 展示室・学習室

(公財) 千歳青少年教育財団

(2) 利用状況の推移

年 度	27	28	29	30	元
利用者数	291,850	259,666	254,851	254,941	258,376

※平成27年度は7月25日～平成28年3月31日までの利用状況
(公財) 千歳青少年教育財団

194 支笏湖遊覧船舶の概要

船 舶 名	トン数	出力 (KW)	旅客定員
客船エメラルド (FRP)	18	117.68	50
客船サファイア (FRP)	17	117.68	50

1 令和2年4月1日現在
北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所

195 観光入込客数

(1) 市内観光入込客数の推移

(単位 千人)

年 度	観 光 客 入 込 数			左 の 内 訳		宿泊客延べ数 (千人泊)	
	計	道 外	道 内	日帰り客数	宿泊客数	うち訪日外国人	
29	5,240.5	1,514.1	3,726.4	4,961.3	279.2	336.5	159.0
30	4,977.2	1,430.5	3,546.7	4,686.8	290.4	353.8	208.4
元	4,542.5	1,309.8	3,232.7	4,248.3	294.2	351.7	215.9

観光課

(2) 市街地観光入込客数の推移

(単位 千人)

年 度	観 光 客 入 込 数			左 の 内 訳		宿泊客延べ数 (千人泊)	
	計	道 外	道 内	日帰り客数	宿泊客数		
29	4,278.5	1,256.9	3,021.6	4,132.8	145.7	179.8	
30	3,962.7	1,172.2	2,790.5	3,803.4	159.3	199.2	
元	3,557.3	1,054.5	2,502.8	3,395.7	161.6	199.1	

観光課

(3) 支笏湖観光入込客数の推移

(単位 千人)

年 度	観 光 客 入 込 数			左 の 内 訳		宿泊客延べ数 (千人泊)	
	計	道 外	道 内	日帰り客数	宿泊客数		
29	962.0	257.2	704.8	828.5	133.5	156.7	
30	1,014.5	258.3	756.2	883.4	131.1	154.6	
元	985.2	255.3	729.9	852.6	132.6	152.6	

観光課

196 市内宿泊施設の概要

地 区	施 設 数	客 室 数	収 容 人 員
市 街 地 ・ 周 辺 地 区	21	2,676	4,482
支 笏 湖 地 区	11	244	903

1 令和2年5月1日現在

観光課

197 ホテル・旅館の概況（地区別）

(1) 市街地・周辺地区

ホ テ ル ・ 旅 館 名	電 話	客 室 数	収 容 人 員
A N A クラウンプラザホテル千歳	22-2311	438	689
ホ テ ル ル ー ト イ ン 千 歳 駅 前	40-1100	330	490
ホ テ ル グ ラ ン テ ラ ス 千 歳	22-1121	256	408
ベストウェスタンプラスホテルフィノー千歳	40-0033	154	364
J R イ ン 千 歳	25-8357	185	364
ポルトムインターナショナル北海道	45-6012	171	342
エ ア タ ー ミ ナ ル ホ テ ル	45-6677	188	278
ク イ ー ン ズ ホ テ ル 千 歳	26-0001	153	245
千 歳 ス テ ー シ ョ ン ホ テ ル	49-3000	138	201
ホテルウイングインターナショナル千歳	24-2111	152	182
千 歳 第 一 ホ テ ル	27-2000	119	149
ホ テ ル エ リ ア ワ ン 千 歳	26-1156	55	126
千 歳 エ ア ポ ー ト ホ テ ル	26-1155	87	124
A i r H o s t e l L C C	22-3666	33	109
ホ テ ル か め や	23-2002	52	103
ホ テ ル リ ブ マ ッ ク ス 千 歳	23-8100	49	89
ト イ ロ ン ズ ホ テ ル	22-4100	40	88
ビ ジ ネ ス ホ テ ル ホ ー リ ン	23-1166	34	54
ピ エ ス ・ チ ト セ ・ エ ス ワ ン	0120-949-484	26	45
新 千 歳 空 港 温 泉	46-4126	11	22
松 原 温 泉 旅 館 (泉 郷)	29-2536	5	10

1 令和2年5月1日現在

2 ホテル等名は収容人員順で掲載した

3 資料2 (2) アに再掲

観光課

(2) 支笏湖周辺

ホテル・旅館名	電 話	客 室 数	収容人員
丸 駒 温 泉 旅 館	25-2341	56	260
しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚	25-2211	53	197
支笏湖ユースホテル	25-2311	18	108
しこつ湖鶴雅別荘碧の座	25-6006	25	96
休 暇 村 支 笏 湖	25-2201	39	88
支笏湖第一寶亭留翠山亭	25-2323	29	73
レイクサイドヴィラ翠明閣	25-2131	8	20
モーラップ樽前荘（ライダーハウス）	25-2902	8	30
ラ ッ プ ラ ン ド （ 民 宿 ）	25-2239	3	14
支 笏 荘 （ 民 宿 ）	25-2718	3	11
ロ グ ベ ア ー （ 民 宿 ）	25-2738	2	6

1 令和2年5月1日現在

2 資料2(2)イに再掲
観光課

198 温泉

温泉名	開 湯	住 所	泉 質	効 能
丸 駒 温 泉	大正 4	幌 美 内	塩化物泉 (含土類・石膏-食塩泉)	神経痛、関節痛、筋肉痛、 冷え性、慢性婦人病等
松 原 温 泉	昭和44	泉 郷	含硫黄ナトリウム-塩化物泉 (ナトリウム・塩化物泉)	リウマチ性疾患、神経痛、 皮膚病等
新千歳空港温泉	平成23	美 々	ナトリウム・塩化物泉 (弱アルカリ性温泉 Ph8)	神経痛、関節痛、筋肉痛、 冷え性、疲労回復
支笏湖温泉	平成26	支笏湖温泉 (第二号泉源)	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉 (低張性弱アルカリ性低温泉)	神経痛、関節痛、筋肉痛、 冷え性、虚弱児童、 慢性婦人病等

1 令和2年5月1日現在

2 温泉名は主なものを開湯順で掲載した
観光課



スカイ・ビア & YOSAKOI 祭



航空祭



千歳 JAL 国際マラソン



捕魚車「インディアン水車」とサケのふるさと千歳水族館



清流千歳川噴水フェスティバル